

日 時 : 3月11日(日) 晴れ時々曇り

参 加 : 尾崎(L)、佐々木(記)

参加は我々だけなので尾崎さんの地元、JR 茨木駅に集合し(7:45)車で出発。3月早々の暖かさで雪解け予想されたが、急な寒さと雨で雪の状態が気に掛る。スノーシューを持参したが、自動車道からの山は山頂が白く雪を残すだけ。イン谷口手前の駐車場に8:50到着。車3台が先着の駐車場はツバキの花が綺麗だ。軽アイゼンだけを持って出発、9:10。橋を渡って、堂満東稜道で山頂へ直登する。ノタノホリまでは、2つの標識に沿う。途中の別荘村は、ほとんどが無人で荒れている。出会った住人によると、今日の雪は沢沿いの日陰部だけとの事。雪解け水を貯め込んだ池が、ノタノホリ。ここを抜けて、荒れた雑木林の道を進む。程なく沢道に入り、ここを抜けると蓄を付け始めたシャクナゲとイワカガミが目立ちます。ここから急登になり、雪と岩と粘土道となる。最後の雪をを抜けると、堂満岳頂上着(1057m)11:45。荒川峠・南比良峠から来たという単独の登山者に記念写真を撮ってもらい、昼食にする。少し霞んでいるが、東岸の山々と手前に広がる琵琶湖を眺めながら、ゆっくり昼食を摂った後は、正面谷からの下山も考えたが、がたつきのある岩道の下山をやめて、ピストンで帰る事にする、12:30。ツボ足で急坂を注意深く下山。間もなく雪が無くなり、快調に足を運ぶ。ブナ林などの自然林がほとんどだが、緑の木々の中に倒木や立ち枯れが痛々しい。天気が良くなって暑さが増してくるが、余裕の歩きで駐車場着、14:10。ゆっくりコーヒータイム後、無事に帰阪。尾崎リーダー、運転ありがとうございました。思ったより雪が少なかったですが、楽しい山歩きが出来ました。



堂満岳



琵琶湖を望む

